



2012-13年度 地区補助金事業報告

G4 周南西ロータリークラブ

◎プロジェクト名

社会福祉法人周陽会社会就労センター「セルフ周陽」(身体障害者通所授産施設)に対し、作業訓練用パソコンを寄贈する。

◎プロジェクトの概要

2012年8月17日(金)、セルフ周陽にて贈呈式を開催し、作業訓練用パソコン2台を同施設へ寄贈した。

通所している身体障害者がこれまではWindows仕様のパソコンしかなく、不便な思いをしていたが、Mac仕様のパソコンが入り、デザイン関係の仕事の強化となり、作業訓練がこれまで以上に向上し、仕事も増えた。

日刊新周南 2012年(平成24年)8月20日(月)

● 周南西R.C. ●

セルフ周陽にMacのパソコン

地区補助金プロジェクトで2台

デザイン分野に期待

周南西ロータリークラブ(蔵清正一会長)は周南市周陽の社会就労センター「セルフ周陽」(北野克志施設長、五十四人)に作業訓練用のパソコン2台を贈り、十七日蔵清会長ら五人が訪れて同施設で利用者たちにパソコンを披露した。同施設は障害のある人が通って併設の手打ちうどん店「UDON陽(ひなた)」の運営や、陶芸印刷、軽作業などの仕事をしている。パソコンは二〇一〇年(廿二)三月、同施設で同クラブが職場例会を開いてうどん店で昼食も食べたことがきっかけになった。

蔵清会長は「一財政も厳しい中、大変助かります」と感謝していた。

周南西ロータリークラブは約十八万円のパソコン購入にはロータリー財団の地区補助金プロジェクトを活用した。パソコンは印刷の仕事で使うが、これまではウインドウズのパソコンしかなく、デザイン関係は主にアップル社のマッキントッシュのパソコンで制作することから不便だったため、今回の寄贈でマックのパソコンを初めて導入することにした。蔵清会長は「大切に使うてほしい」と話し、北野施設長は「財政も厳しい中、大変助かります」と感謝していた。

周南西ロータリークラブ 会長 蔵清正一様

社会福祉法人 周陽会 理事長 高橋 謙

平成24年8月24日

拝啓 盛夏の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。この度は、「パソコン2台」をご寄贈賜り誠に有り難うございます。早速、生産活動事業で使用させていただき、利用者、職員に大変高評を得ております。さて、社会福祉法人周陽会 セルフ周陽は、昭和59年4月に周陽福祉作業所を開設し、平成16年に社会就労センターセルフ周陽に改称するなどし、今年で28年を迎えることができました。この間、施設の運営については、多くの支援と協力により順調に推移しているところですが、最近の日本経済の不況は、当事業所にも少なからず影響して来ております。このような情勢の中で、職員を始め利用者一同、一丸となってこの状況を乗り切るため最大限の努力をしているところでございます。こうした中で、貴団体の心温まる贈り物に利用者、職員一同深く感謝いたしております。どうか今後とも温かくお見守りいただき、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴団体のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、略儀ながら書面をもって厚くお礼申し上げます。

敬具



Rotary International District 2710

周南西ロータリークラブ

SHUNAN WEST ROTARY CLUB

山口県周南市